



 Something **Better** with Chemicals

化学でもっといいこと。 それが私たちの志です。

私たちは、グループ企業理念である

「独創的な技術と製品により 安心で豊かな社会の実現に貢献します」

という考えのもとさまざまな事業を通じて、

変化し続ける時代のニーズに応えつづけてきました。

世界のすべての人びとに、もっと幸せな社会を、もっと健康な毎日を

それこそが企業としての社会的責任であると考えています。

私たちはこれからも、創業時から受け継いできた

独創的なものづくりのDNAで新たな価値を創造し、

「化学でもっといいこと。」を実現していきます。



Message

大阪ソーダは、1915年に創立され、国内で初めて電気分解によるかせいソーダの工業化に成功しました。以来、当社グループは独創的なものづくり技術を駆使し、創業事業である基礎化学品をはじめ、グローバルニッチの機能化学品、医薬品原薬・中間体など、さまざまな化学製品の提供を通して産業の発展に貢献してまいりました。

現在、私たちは「化学を通じて社会が求める新たな価値を提供する企業グループ」を目指し、機能化学品およびヘルスケア事業の拡大、バイオや環境をはじめとする新たな事業領域への展開を図り、高付加価値製品を中心とした強い事業構造の構築を進めています。

その実現に向けて、私たち大阪ソーダグループは、これからも化学の可能性を追求し、常に新たな領域へ挑戦する活力と革新力をもって産業や社会の発展に役立つものづくりを推進してまいります。



代表取締役 社長執行役員
寺田 健志



case 01

**水道から安全な水が出る。
当たり前前を安心を
きょうも守る。**

毎日の暮らしに、無くてはならない水。
きちんと安全・衛生が管理されているからこそ、私たちは安心して水を飲んだり、料理に使ったりすることができます。その衛生管理を影で支えているのが、滅菌作用に優れた「次亜塩素酸ソーダ」。
上下水道の滅菌・消毒など水処理に欠かせない薬品のひとつです。



case 02

**エンジンの、小型化を支える。
地球にやさしい
ドライブを叶える。**

環境にやさしい自動車が、ますます求められている今。
CO₂排出量を減らす取り組みのひとつとして、エンジンルームの小型化が進んでいます。
しかし、小型になると熱が逃げづらくなり、エンジンまわりの温度が上昇。
この高温化の対策に一役買っているのが、特殊合成ゴム「エピクロルヒドリンゴム」や「アクリルゴム」です。
熱や油に強いエンジンホースの材料として、自動車の環境性能の向上を支えています。



case 03

**キレイで、見やすいだけの
食品容器じゃない。
環境のことも、ちゃんと。**

食卓にならぶ、牛乳やジュースの紙パック。
そのパッケージの多くに、有機溶剤フリーの印刷用UVインキが使われ、デザインだけでなく、環境にもこだわった容器がつくられています。
「ダップ樹脂」や「ノンフタレート型アリル樹脂」を使用したUVインキは速乾性に優れ、紫外線を当てるとわずか数秒で乾燥。
地球にやさしく、作業性に優れたパッケージ印刷を実現しています。



case 04

**健やかな、明日を願う。
医薬品の研究開発を
世界中で支える。**

現代社会のストレスや生活習慣の変化から、健康への関心が世界的に高まっています。
「液体クロマトグラフィー用シリカゲル」は、有効成分と不純物を分離させたり、医薬品の純度を高めるために活用されています。
医薬品の開発や製造などに活かされ、見えないところで人々の健康を支えています。

サステナビリティ



大阪ソーダは持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。

化学の可能性を追い求め、新たな領域へと挑戦し 持続可能な社会の実現に貢献し続ける。

化学によるイノベーションを通じて社会が抱えるさまざまな課題の解決に取り組むことは、化学の事業に携わる私たちの使命です。当社グループは基盤技術の深化・融合によって生み出された優れた製品、技術による貢献はもちろん、環境と安全に配慮したものづくりを強化し、全社活動を通じてSDGsへの貢献を果たしてまいります。

生産活動における取り組み

当社グループでは、地球温暖化などの気候変動を緩和するための活動として、GHG排出量削減や環境負荷低減に向けた取り組みを継続して推進しています。また、環境保全や労働安全衛生活動、将来を担う人材の育成にも積極的に取り組んでいます。



事業活動における取り組み



化学品事業



かせいソーダや次亜塩素酸ソーダをはじめとするクロール・アルカリ製品は、水処理薬品や肥料・農薬原料、殺菌・除菌剤に使用されており、安心で衛生的な生活環境づくりに貢献しています。



機能材事業



省エネルギーで有機溶剤を使用しないUVインキに使用されるダップ樹脂、自動車の蒸散ガス低減に貢献するエピクロルヒドリンゴム、エコカーのターボエンジン周りに搭載されるアクリルゴム、省エネタイヤ用改質剤として使用されるCABRUST™など、グローバルニッチの製品で環境負荷の低減に貢献しています。さらに、モビリティ、情報・通信、環境・エネルギーの領域で当社の独創性を活かした研究開発を推進しています。



ヘルスケア事業



当社独自の有機合成、バイオ、クロマトグラフィーの3つのコア技術を駆使した医薬品原薬・中間体および精製材料の製造を通じて、医薬品業界を支えています。また、近年では多様化する治療手段に対応しバイオ医薬品など成長分野への展開による新たな事業の創出を目指しています。

私たちは、独自の電解技術をもとに
化学の可能性を広げ、さまざまな産業を支えています。

化学品事業

機能材事業

ヘルスケア事業

その他

[] : 製品名

◆ : 原料



化学品事業

創業以来育んできた確かな技術で
安心、安全な暮らしを支えていく。

創業以来のコアビジネス クロール・アルカリ

原塩を電気分解して製造されるクロール・アルカリは、製品として販売されるほか、当社グループの数多くの製品の原料としても使用されています。原料から製品までの一貫生産により安定的な供給を可能としています。

かせいソーダ／塩素ガス／液化塩素／水素ガス／かせいカリ／塩酸／次亜塩素酸ソーダ／低食塩次亜塩素酸ソーダ〔メックロン™〕／塩化第二鉄／塩素酸ソーダ／亜塩素酸ソーダ／安定化二酸化塩素〔ダイソーオスロン™〕



かせいソーダ

紙・パルプ、繊維の漂白や食品・化学製品全般の製造過程など幅広い分野で使用されています。



次亜塩素酸ソーダ

主に上水道の滅菌に使用されています。特に高品質グレード〔メックロン™〕は高度な衛生管理が必要となる分野で採用されています。



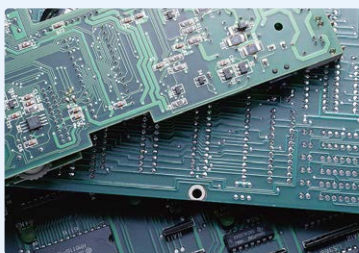
水素ガス

CO₂を排出しないクリーンエネルギーとして今後の有効利用が期待されています。

当社の“独創的なものづくりの源泉” アリルクロライド／エピクロルヒドリン

アリルクロライド (AC) とエピクロルヒドリン (EP) はプロピレンの塩素化により製造されます。これらは当社の独創的な機能化学品の主原料として用いられています。またエポキシ樹脂などの原料としてさまざまな産業を支えています。

アリルクロライド／エピクロルヒドリン／1,3-ジクロロプロペン〔DC〕／トリクロロプロパン



エピクロルヒドリン

電子部品の封止材をはじめ、橋梁、船舶などの防錆塗料や炭素繊維のバインダーなどさまざまな用途で活躍しています。



アリルクロライド

エピクロルヒドリンの原料として使用されるほか、農業や医薬品の原料にも使われています。



機能材事業

変化し続ける世界に独自の技術で応え
明日の進化を叶えていく。

世界トップの販売実績を誇る アリルエーテル類

アリルエーテル類はアリルクロライド、エピクロルヒドリンを原料とする多官能の有機中間体で、電子材料やコーティング分野をはじめ多彩な用途に展開しています。

アリルグリシジルエーテル〔ネオアリル™G〕／トリメチロールプロパンジアリルエーテル〔ネオアリル™T-20〕／ペンタエリスリトールトリアリルエーテル〔ネオアリル™P-30〕／グリセリンモノアリルエーテル〔ネオアリル™E-10〕／ジアリルジメチルアンモニウムクロライド〔DADMAC™〕



ネオアリル™G

シランカップリング剤の原料として半導体の封止やプリント基板など、樹脂と金属・ガラス繊維の密着性向上に役立っています。



ネオアリル™T-20

高級木工塗料の速乾性向上のための添加剤として採用されています。



DADMAC™

繊維の色落ちを防ぐ染料固着剤、水の浄化処理から樹脂添加剤まで幅広く使用されています。

耐熱性に優れた特殊合成ゴム エピクロルヒドリンゴム／アクリルゴム

耐熱性、耐油性、低温特性などの物性バランスに優れたエピクロルヒドリンゴムは、自動車の高性能化と環境規制に対応するほか、半導電特性を活かしてOA機器分野でも活躍しています。また、アクリルゴムは、高温条件下で高い耐油性を発揮します。

エピクロルヒドリンゴム〔エピクロマー™〕〔エピオン™〕／アクリルゴム〔ラクレスター™〕



エピクロマー™

自動車用燃料系ホース、吸排気系ホースに採用されています。



エピオン™

デジタルカラー複合機の帯電・転写・現像ロールに採用されています。



ラクレスター™

軸受シール、自動車用オイルシール、吸排気系ホースに使用されています。

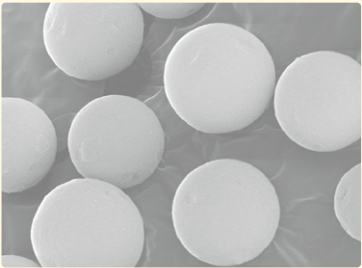
ヘルスケア事業

開発から製造まで、信頼の性能で
健やかな笑顔を広げていく。

医薬品の分析や精製に欠かせない高性能シリカゲル 液体クロマトグラフィー用シリカゲル

GMP管理の下で製造される液体クロマトグラフィー用シリカゲルは、機能性分離材料として、新規医薬品の研究開発や精製工程に使用されています。300種類を超える豊富なグレードと分析・分取用充填カラムや分析装置など周辺商材の充実したラインナップに加え、きめ細やかな技術とサービス提供によりお客様のご要望に応じています。

液体クロマトグラフィー用シリカゲル[ダイソーゲル™]/各種充填カラム[カプセルパック™]



ダイソーゲル™ (拡大図)



カプセルパック™



GMP対応修飾型シリカゲル製造設備

医薬品をはじめ、化粧品、機能性食品の分析や分取精製に使用されています。

バイオと有機合成で健康と豊かさをサポート 医薬品原薬・中間体

触媒技術を用いた光学活性体原料、遺伝子組み換え技術による糖関連化合物、抽出技術を用いた各種酵素、国内最大級のGMP対応凍結乾燥など特殊技術を駆使して、医薬品原薬・中間体メーカーとしての地位を確立してきました。その技術は診断薬や化粧品原料など、ライフサイエンスの多彩な分野にも活かされています。当社グループはこれからも、信頼される医薬品開発のパートナーとして、品質の高い製品を提供してまいります。

各種医薬品原薬・中間体の受託生産、光学活性体、各種診断薬、化粧品原料



受託生産



各種医薬品原薬・中間体



肝機能診断薬[ユーバステック™・オート]

各種医薬品原薬・中間体の受託生産、光学活性体、各種診断薬などを提供しています。

グローバルニッチトップの熱硬化性樹脂 ダップ樹脂(ジアリルフタレート樹脂)/ノンフタレート型アリル樹脂

ダップ樹脂は高い耐熱性と電気絶縁性を併せ持つ熱硬化性樹脂で、主に電子・電気部品に使用されています。近年はUVインキにも使用され、活躍の場が広がっています。また、ダップ樹脂の特徴をそのままに、ノンフタレート型アリル樹脂「RADPAR™」を開発し、プラスチック基材用UVインキで採用が拡大しています。

ジアリルフタレートプリポリマー[ダイソーダップ™]/ジアリルイソフタレートプリポリマー[ダイソーイソダップ™]
ジアリルオルソフタレートモノマー[ダイソーダップ™モノマー]/ジアリルイソフタレートモノマー[ダイソーダップ™100モノマー]
ノンフタレート型アリル樹脂[RADPAR™]



ダイソーダップ™

電気制御盤など高い耐久性が求められる電気部品・電装部品に採用されています。



ダイソーダップ™

環境にやさしいUVインキの添加剤として、フードパッケージなどの食品容器の印刷に使用されています。



RADPAR™

プラスチック素材用UVインキ添加剤に使用されています。

環境に配慮した高耐久性電極 電極

創業以来蓄積してきた電気化学の確かな技術とノウハウで製造された電極は、消費電力の低減効果により環境保護に役立つだけでなく、長寿命で耐久性に優れるため、お客様のコストダウンにも貢献しています。特に酸素発生用電極では国内トップシェアを誇っています。

電極(NEOLORD™シリーズ:酸素発生用電極、塩素発生用電極、水電解用電極)、付帯プラントエンジニアリング



塩素発生用電極

クロール・アルカリ製造用の電極に使用されています。



酸素発生用電極

家電製品のボディの鋼板めっきの工程やリチウムイオン電池の集電体に使用されています。



水電解用電極

アルカリイオン整水器や業務用の強電解水生成装置などに使用されています。

自動車のCO₂排出量削減に貢献 省エネタイヤ用改質剤

当社の「CABRUST™」は低燃費タイヤの改質剤として使用されています。CABRUST™を配合することでゴムとシリカの結合を補助し、タイヤの転がり抵抗を減少させるだけでなく、濡れた路面での制動性能を発揮します。当社は、このような製品の提供により、CO₂削減をはじめ地球環境保全に貢献してまいります。

ポリスフィド系シランカップリング剤[CABRUST™]



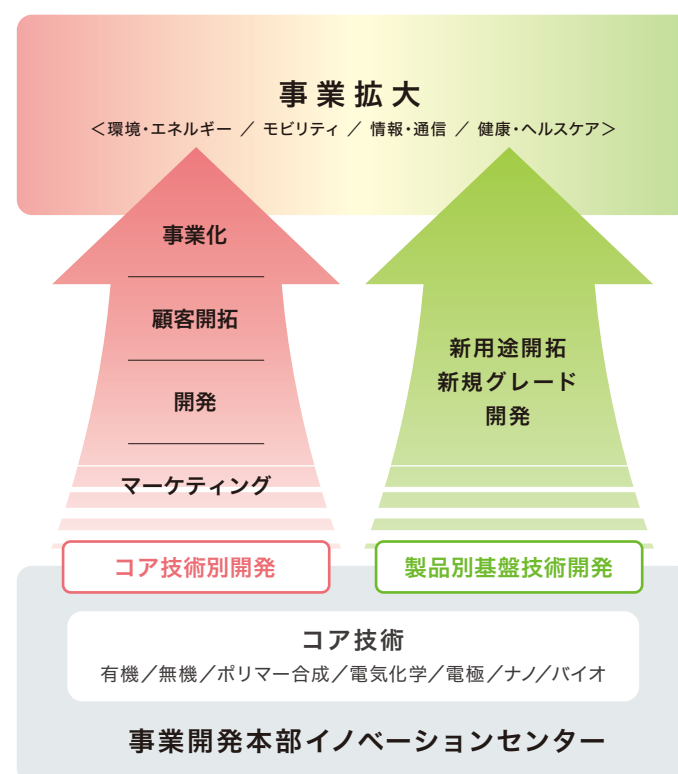
CABRUST™

研究開発

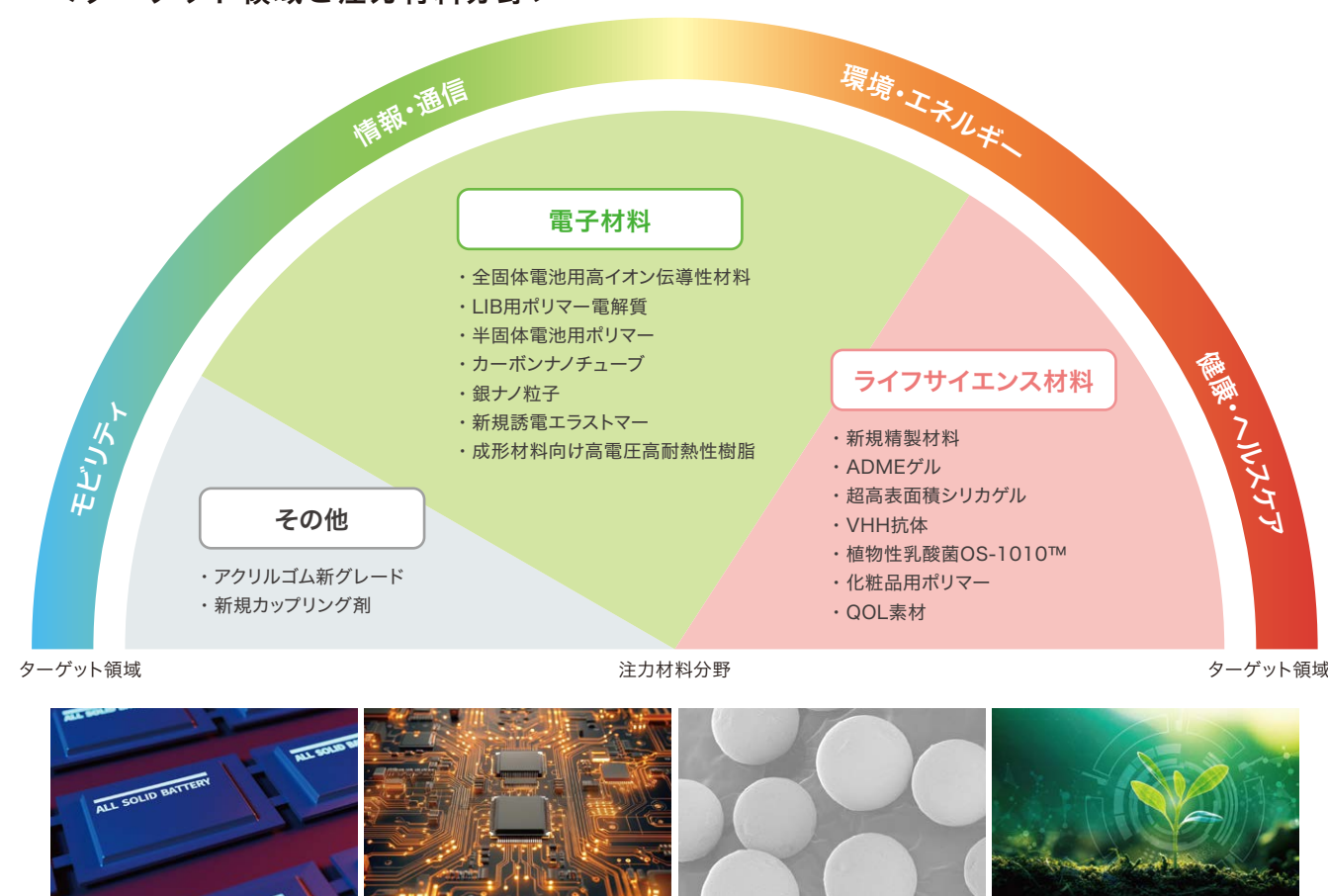


事業化マインドを持った技術開発集団が オンリーワンの価値を生む。

大阪ソーダは独創的なものづくりを通じて、数々のスペシャリティケミカルを生み出し、世界トップシェアを獲得する製品を提供してきました。事業開発本部は、大阪ソーダのコアとなる基盤技術の更なる向上を目指すイノベーションセンターを直下に置き、「事業化マインドを持った技術者集団」として活動しています。イノベーションセンターでは、当社独自技術を活かした開発テーマの探索や立案を担う「開発企画グループ」が中心となり、新規事業や新製品の可能性を追求しています。また、経営企画部に属する「開発営業グループ」は、新規テーマ探索に特化し、将来の成長を支える新たな事業機会の発掘に注力しています。各開発グループは、司令塔である開発企画グループの管理下で、新素材の開発や既存事業周辺の新規グレード、新用途の開発に取り組んでいます。これらの役割の異なる組織が綿密に連携することで、事業化速度を高め、オンリーワンの価値を創造し続けています。大阪ソーダは、今後も豊かな社会の実現に貢献してまいります。



<ターゲット領域と注力材料分野>



生産体制・品質保証・安全衛生



生産体制

各工場が連携して、安定供給を実現。
革新と改善により、グローバル競争力を発揮。

大阪ソーダでは、北九州工場（九州地区）、尼崎工場（関西地区）、松山工場（四国地区）、水島工場・岡山工場（中国地区）の生産拠点を国内に展開。各消費地に近接したロケーションで操業を行い、お客様に迅速に製品をお届けできる体制を整えています。

さらに、5工場で生産を行うことにより、万が一災害やトラブルによっていずれかの工場が稼働に支障をきたした場合でも、他の工場が速やかに生産を補完できる仕組みを構築しています。

また、グローバル競争に打ち勝つため、各工場がそれぞれの目標を設定し、品質と生産性を維持しながらコスト競争力を高めるための改革と改善を積極的に進めています。



北九州工場 | ISO9001 登録番号JQA-0998
九州地区のかせいソーダおよび塩化物の供給拠点



松山工場 | ISO9001 登録番号JQA-0998
各種機能化学品やシリカゲルの製造ならびにサンヨーファイン(株)の医薬品原薬・中間体の主力生産拠点



尼崎工場 | ISO9001 登録番号JQA-1181
各種無機製品や電極、シリカゲルなどの中核製造拠点



水島工場 | ISO9001 登録番号JQA-0539
岡山工場 | アリルクロライド、エピクロロヒドリンおよび当社最大規模のかせいソーダ生産拠点

品質保証

ISO9001、GMPにより製品の品質管理を徹底し、品質保証レベルを継続的に改善。

「お客様の満足する製品を提供します。」を目的に、品質マネジメントシステムに関する国際規格ISO9001や、医薬品関連製品のGMPによる品質管理を行い、製品の信頼性と安全性を確立し、品質保証レベルの継続的改善に努めています。

【GMP対応工場】 Good Manufacturing Practice 医薬品および医薬部外品の製造・品質管理の基準です。



尼崎工場
修飾型シリカゲル製造設備



サンヨーファイン株式会社
松山工場



サンヨーファイン株式会社
福井工場



サンヨーファイン株式会社
加古川事業所

安全衛生

環境安全衛生・保安防災委員会を中心に、重大事故、労働災害の撲滅を目指す。

大阪ソーダでは、全社RC委員会、RC推進会議、各事業所の環境安全衛生・保安防災委員会を中心に、安全衛生、保安防災活動を推進しています。特に、ZA（ゼロアクシデント）、重大事故防止対策の活動をPDCAサイクルで取り組み、重大事故および労働災害の撲滅に努めています。



レスポンス・ケア

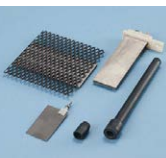
グループネットワーク

国内外に広がるグループの力を
さらに大きな未来へ進む原動力に。

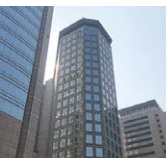


社 名	株式会社 大阪ソーダ OSAKA SODA CO.,LTD.
代 表 者	代表取締役 社長執行役員 寺田 健志
本 社	〒530-0001 大阪市北区梅田三丁目2番2号 JPタワー大阪19階 TEL 06-7733-1101 FAX 06-7733-1101
事 業 所	東京支社／中四国営業所／九州営業所 研究センター／北九州工場／尼崎工場 松山工場／水島工場／岡山工場

■ 国内グループ会社

 ／ダイソーケミカル株式会社 【化学製品・生活関連商品等の販売】 本社／大阪市北区梅田三丁目2番2号 JPタワー大阪19階 事業所／東京オフィス、九州営業所、四国営業所（松山・三島）、台湾駐在員事務所	 ／ダイソーエンジニアリング株式会社 【電極の製造・販売、メンテナンス】 本社／大阪市北区梅田三丁目2番2号 JPタワー大阪19階 工場／尼崎、岡山	 ／サンヨーファイン株式会社 【医薬品原薬・中間体の製造・販売】 本社／大阪市北区梅田三丁目2番2号 JPタワー大阪19階 事業所／東京営業所、尼崎事業所、加古川事業所、福井工場、松山工場
 ／株式会社ジェイ・エム・アール 【資源リサイクル】 本社・工場／兵庫県尼崎市大高洲町9-2	 ／DSロジスティクス株式会社 【化学製品の運送取扱い】 本社／兵庫県尼崎市大高洲町11 事業所／尼崎事業所、松山事業所、水島事業所	 ／サンヨーファイン医理化テクノロジー株式会社 【カラム・装置等分析機器の製造】 本社／京都府京都市南区東九条西河辺町12
 ／DSウェルフーズ株式会社 【健康食品素材の製造、加工販売】 本社／大阪市北区梅田三丁目2番2号 JPタワー大阪19階	 ／ダイソーインシュアランス株式会社 【損害保険・生命保険の取扱い】 本社／大阪市北区梅田三丁目2番2号 JPタワー大阪19階	 ／株式会社INBプランニング 【ゴム製品の製造・販売】 本社・工場／愛知県大府市高丘町一丁目100 事業所／中国浙江省

■ 海外グループ会社

 ／三耀精細化工品銷售（北京）有限公司 【カラム・装置等分析機器の販売】 本社／北京市朝陽区建国路乙118号 京匯大廈2002室 事務所／広州市	 ／DAISO Fine Chem USA, Inc. 【医薬品精製材料の製造・販売】 本社／1750 E. Golf Rd. Suite 1140 Schaumburg, IL 60173, USA	 ／DAISO Fine Chem GmbH 【医薬品精製材料および機能化学品等の販売】 本社／Am Seestern 18, 40547, Düsseldorf, Germany
 ／大曹化工貿易（上海）有限公司 【機能化学品・電子材料等の輸出入】 本社／上海市長寧区婁山関路523号 金虹橋国際中心1座1704室 事務所／広州市	 ／DAISO CHEMICAL (THAILAND) CO., LTD. 【機能化学品・電子材料等の輸出入】 本社／54 Harindhorn Tower, 9th floor, Unit 9F, North Sathorn Rd, Silom, Bangrak, Bangkok 10500	

大阪ソーダの歩み

110年の歴史で培った礎を
明日へのチャレンジに活かす。

1915年 大阪曹達株式会社設立 1916年 小倉工場（福岡県北九州市）の操業を開始 1931年 尼崎工場（兵庫県尼崎市）の操業を開始 1948年 東京出張所（現・東京支社）を開設 1949年 大阪証券取引所（現・大阪取引所）市場第一部に株式上場 1952年 松山工場（愛媛県松山市）の操業を開始 1953年 東京証券取引所市場第一部に株式上場 1956年 大曹商事株式会社（現・ダイソーケミカル株式会社）を設立 1961年 研究所（現・研究センター）（兵庫県尼崎市）を開設 1962年 ダップ樹脂の製造開始 1968年 岡山化成株式会社を旭化成工業株式会社（現・旭化成株式会社）と共同出資にて設立 1970年 ・大曹有機株式会社に設立 ・岡山化成株式会社 水島工場の操業を開始 1971年 エピクロルヒドリンの製造開始	 創立当時の本社所在地 宇治電ビル  小倉工場  尼崎工場  松山工場  研究センター  岡山化成	1975年 ・ダイソーエンジニアリング株式会社に設立 ・大曹有機株式会社に吸収合併し水島工場とする 1978年 アリルグリシジルエーテルの製造開始 1979年 エピクロルヒドリンゴムの製造開始 1988年 ダイソー株式会社に社名変更 1992年 液体クロマトグラフィー用シリカゲルの製造開始 2001年 ・省エネタイヤ用改質剤「カプラス」の製造開始 ・株式会社ジェイ・エム・アールを設立 2002年 蝶理ケミカル株式会社を子会社化し、社名をダイソーケミカル株式会社とする 2005年 大曹化工貿易（上海）有限公司を設立 2006年 ・DSウェルフーズ株式会社を設立 ・DAISO Fine Chem USA, Inc.を設立 2008年 ・DAISO Fine Chem GmbH, DSロジスティクス株式会社を設立 ・サンヨーファイン株式会社の全株式を取得 2010年 ・株式会社食品バイオ研究センターの全株式を取得 ・サンヨーファイン株式会社が株式会社食品バイオ研究センターを合併	 水島工場 2012年 ・岡山化成株式会社を完全子会社化 ・株式会社インベックスの全株式を取得 ・DAISO CHEMICAL (THAILAND) CO.,LTD.を設立 2014年 ・ダップ樹脂が経済産業省「グローバルニッチトップ（GNT）企業100選」に選定 ・株式会社INBプランニングに資本参加 2015年 会社創立 100 周年 株式会社 大阪ソーダに社名変更 2016年 ダイソーケミカル株式会社が株式会社インベックスを合併 2017年 ・アクリルゴムの製造開始 ・総合研究開発センター開設 ・資生堂医理化テクノロジー株式会社を子会社化し、サンヨーファイン医理化テクノロジー株式会社に社名変更 ・三耀精細化工品銷售（北京）有限公司を設立 2018年 ・ノンフタレート型アリル樹脂の製造開始 2021年 ・岡山化成株式会社を吸収合併し岡山工場とする ・小倉工場を移転し北九州工場（福岡県北九州市）に改称 2024年 ・電池研究棟の建設	 表彰状  OSAKA SODA  アクリルゴム製造設備  総合研究開発センター  ノンフタレート型アリル樹脂製造設備  電池研究棟
---	--	---	---	---